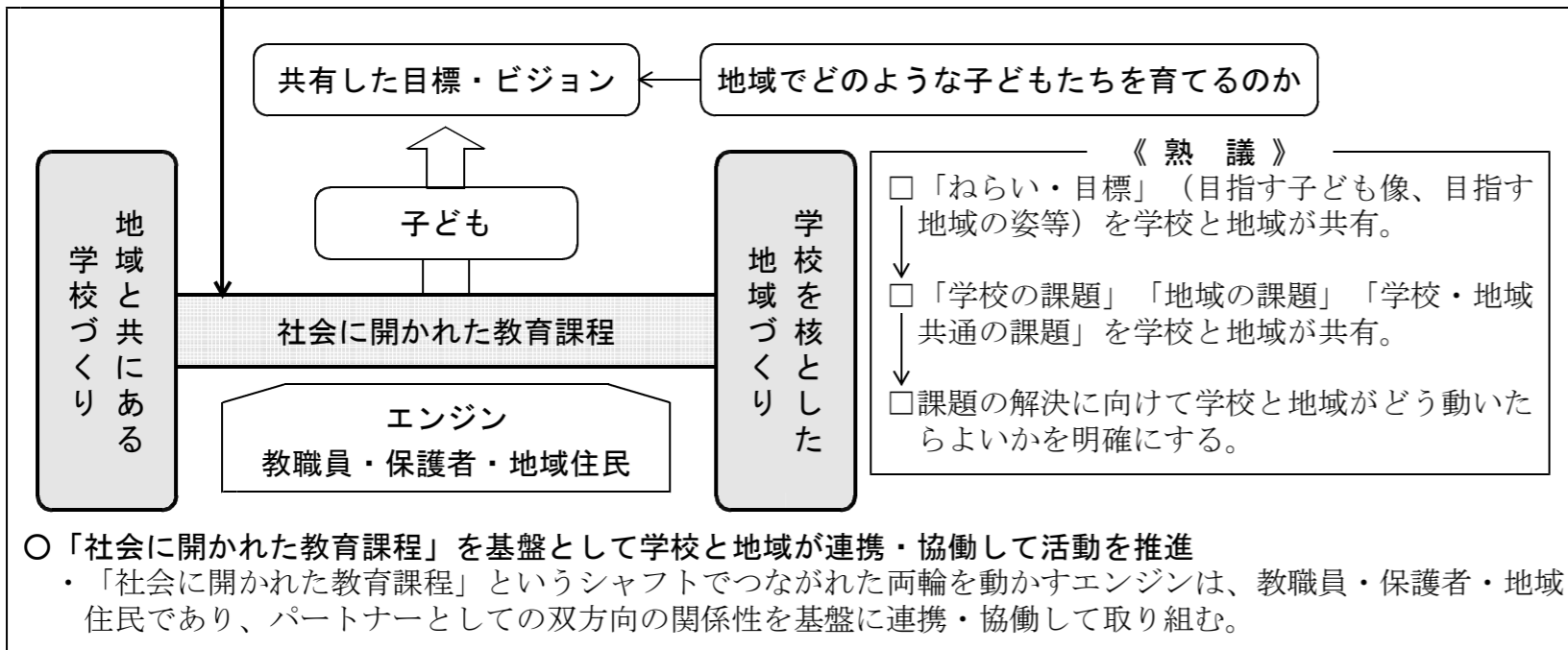


**学校統合により学区が拡大しても、学校と地域との濃密なつながりが維持できるコミュニティ・スクール**  
 ～コミュニティ・スクールを通じた“地域と共にある学校づくり”と“学校を核とした地域づくり”～

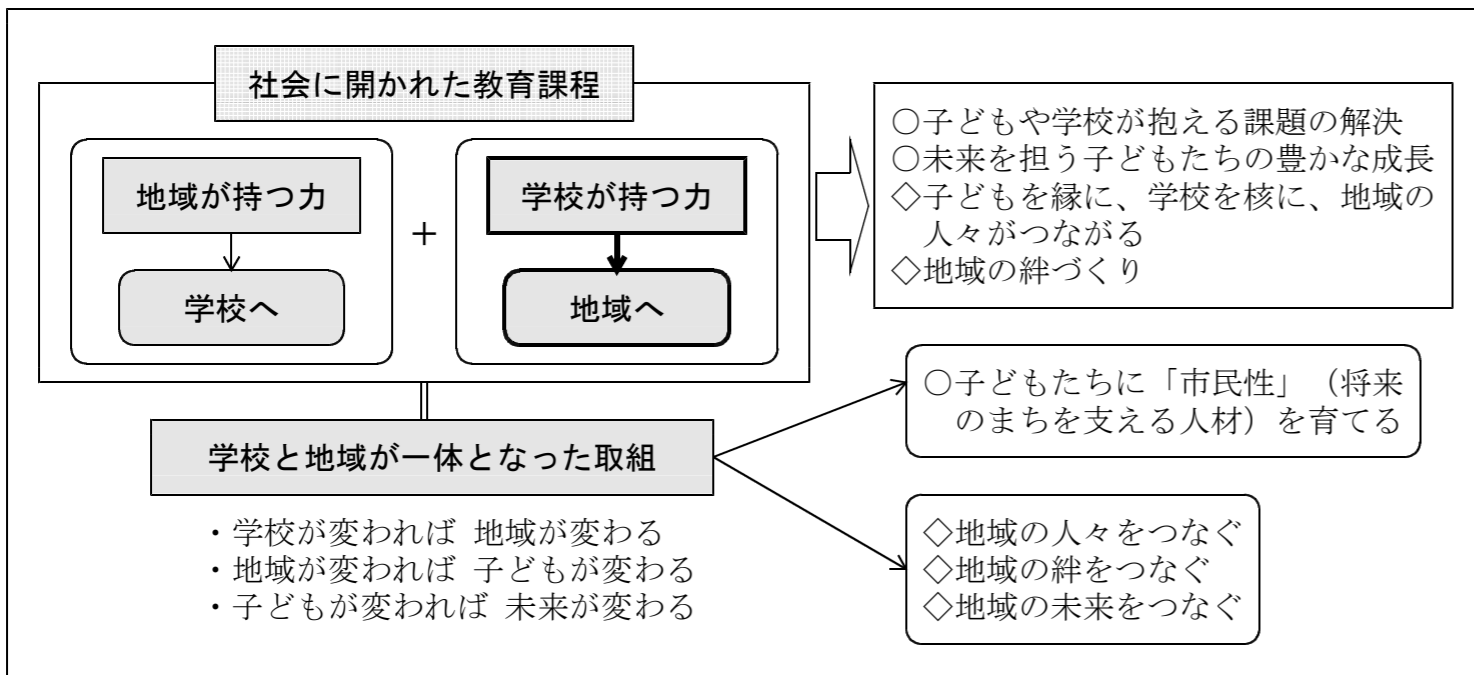
1 「社会に開かれた教育課程」を基盤として学校と地域が連携・協働するコミュニティ・スクール

○「社会に開かれた教育課程」の3つのポイント

- ①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有する。
- ②これからの社会を創り出していく子どもたちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成する。
- ③地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する。



2 「社会に開かれた教育課程」を基盤とした学校と地域との双方向の取組



3 「社会に開かれた教育課程」を基盤とした学校主体の取組（4つの視点）

○地域の特色を生かしたカリキュラム（「社会に開かれた教育課程」）の編成

- ・自分たちの住む地域に目を向け、地域の課題を“自分ごと化”
- ・総合的な学習の時間において、地域の課題等を踏まえた系統的な探究課題を設定。

① **地域を学ぶ** …【郷土愛の原点】

- ・地域の豊かな自然、歴史、伝統文化、産業等にスポットを当てて「学ぶ」を創る。
- ・地域の自然や歴史、文化等について体験を通して学ぶ。

② **地域を生かす** …【学校教育が豊かに、地域が元気に】

- ・地域の人、物、ことを生かして「学び」を創る。
- ・地域の企業や事業所等を活用したキャリア教育等。

③ **地域に貢献する** …【自分たちにできることは何か】

- ・ボランティア活動、地域貢献する過程で学校の「学び」を確かめる。
- ・地域づくり活動（地域の行事）への参画。

④ **地域と学ぶ** …【地域の魅力再発見】

- ・地域の方と一緒に「学ぶ」場を作る。
- ・防災参観日、防災に関する学びの発表等。

↓

学校と地域が一体化した活動を展開